



室戸ジオパークだより Vol.86



“海の資源を守り、大切に使おう。”



室戸岬海岸清掃活動
(参加自由)
4月22日(金)
9:00~10:00

参加をご希望の方は、室戸ジオパーク推進協議会までご連絡ください。

電話：0887-22-5161

メール：info@muroto-geo.jp



牧野富太郎が命名！室戸の植物



最近NHKの朝ドラで話題になっている高知県佐川町出身の植物学者、牧野富太郎博士。天然記念物のヤッコカンザシの他にも、室戸には博士が命名した植物があるのを、皆さんは知っていましたか？数ある博士命名の植物の中でも、今回は「ハマアザミ」をご紹介します。

鋭いトゲを持つ葉の中に、可憐に咲く紫色の花が特徴のハマアザミ。室戸市内では海岸沿いや道端によく生えているのを見かけます。室戸岬の灌頂ヶ浜でも、ハマアザミが海岸の至るところに咲いているのを見ることができます。

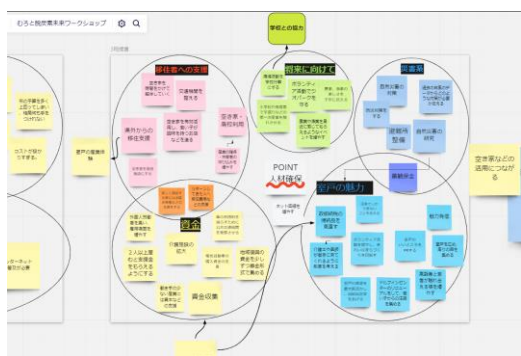
まだ葉がやわらかいハマアザミの根は食べることができます。ちょうど今の時期になると、室戸市内のスーパーの店頭にも並びます。ハマゴボウとも呼ばれ、室戸市民の暮らしに根付いた植物の一つです。※室戸岬海岸は国立公園に指定されているため、植物の採取はできません。



むろと脱炭素未来ワークショップを室戸高校で開催しました！

2022年2月22日（スーパー猫の日・忍者の日）に、室戸高校1・2年生と市役所職員を対象とした「むろと脱炭素未来ワークショップ」が、対面とオンラインとのハイブリッド形式で開催されました。千葉大学と芝浦工業大学の研究チーム“OPoSuM-DS”と、室戸高校、室戸市まちづくり推進課、室戸ジオパーク推進協議会の共催イベントとして行われました。

はじめに、人口・産業・福祉・財政・エネルギー・気候変動など様々な将来予測データを示す「未来カルテ」や、脱炭素政策の効果を計る「カーボンニュートラルシミュレータ」を用いたレクチャーを受けました。その後、高校生が2050年の未来市長として、将来の課題をより正確に捉え、現在から取り組んでおくべき政策を考えるワークショップを行いました。



今のペースで室戸市の人口減少が続けば2050年には3000人ほどになってしまうという予想や、気候変動による健康や農業・漁業に与える影響を学び、このままではかなり深刻な未来が待ち受けていることを実感した生徒たちは、グループごとに真剣に政策づくりに挑戦しました。参加した高校生は、未来市長になり「歴史を変える」ように政策を考えることを楽しんだとの感想もありました。生徒たちが考えた政策は室戸市副市長に向けて提言され、都会に比べると充実した保育ができることをアピールしていく案や、総合病院の設置案、次なる再生可能エネルギーに向けての提案など、実際の市政にも生かせるものが挙げられました。地域の将来を担う世代が「自分も持続可能なまちづくりに貢献できるんだ」と、少しでも実感してもらえればうれしい限りです。

